

タイトル (MS ゴシック, 14ポイント, センタリング)

名城太郎^{†,††}・亜細亜花子[†]

† 名城大学アジア研究所

†† 名城大学〇学部

要旨

産業育成, 急速な開発に伴う環境劣化等の諸問題があり, アジアの持続的な発展に向けては様々な課題が山積している¹⁾。日本はアジア経済の中核に位置して, その発展に大きな影響を及ぼしてきた。日本とアジアとの相互依存関係はかつてないほど高まっている²⁾。日本はアジアの持続的な発展に向けて積極的に取り組んでいく必要がある。産業育成, 急速な開発に伴う環境劣化等の諸問題があり, アジアの持続的な発展に向けては様々な課題が山積している¹⁾。日本はアジア経済の中核に位置して, その発展に大きな影響を及ぼしてきた。日本とアジアとの相互依存関係はかつてないほど高まっている²⁾。日本はアジアの持続的な発展に向けて積極的に取り組んでいく必要がある。

キーワード: 名城大学, 亜細亜

1. はじめに

産業育成, 急速な開発に伴う環境劣化等の諸問題があり, アジアの持続的な発展に向けては様々な課題が山積している¹⁾。日本はアジア経済の中核に位置して, その発展に大きな影響を及ぼしてきた。日本とアジアとの相互依存関係はかつてないほど高まっている²⁾。日本はアジアの持続的な発展に向けて積極的に取り組んでいく必要がある。

産業育成, 急速な開発に伴う環境劣化等の諸問題があり, アジアの持続的な発展に向けては様々な課題が山積している¹⁾。日本はアジア経済の中核に位置して, その発展に大きな影響を及ぼしてきた。日本とアジアとの相互依存関係はかつてないほど高まっている²⁾。日本はアジアの持続的な発展に向けて積極的に取り組んでいく必要がある。

産業育成, 急速な開発に伴う環境劣化等の諸問題があり, アジアの持続的な発展に向けては様々な課題が山積している¹⁾。日本はアジア経済の中核に位置して, その発展に大きな影響を及ぼしてきた。日本とアジアとの相互依存関係はかつてないほど高まっている²⁾。日本はアジアの持続的な発展に向けて積極的に取り組んでいく必要がある。

産業育成, 急速な開発に伴う環境劣化等の諸問題があり, アジアの持続的な発展に向けては様々な課題が山積している¹⁾。日本はアジア経済の中核に位置して, その発展に大きな影響を及ぼしてきた。日本とアジアとの相互依存関係はかつてないほど高まっている²⁾。日本はアジアの持続的な発展に向けて積極的に取り組んでいく必要がある。

産業育成, 急速な開発に伴う環境劣化等の諸問題があり, アジアの持続的な発展に向けては様々な課題が山積している¹⁾。日本はアジア経済の中核に位置して, その発展に大きな影響を及ぼしてきた。日本とアジアとの相互依存関係はかつてないほど高まっている²⁾。日本はアジアの持続的な発展に向けて積極的に取り組んでいく必要がある。

2. 方法, 項目等 (MS ゴシック, 10ポイント)

名城大学は, 「総合化」「高度化」「国際化」を教育・研究の重点項目として掲げている。名城大学にはアジアから多くの留学生が学び, 日本とアジアの持続可能な発展にむけた知見の蓄積と教育への還元は優先課題となっている。名城大学が立地する東海・中部地域は製造業を中心としてアジア進出が著しく, アジアとの強い経済関係がみられる。アジアの社会経済のダイナミズムや中部・東海地域との関係性を多面的に捉えるアジア研究にも高い期待が寄せられている。アジアの各地域は異なる歴史・文化を持ち, その価値観も多様である。グローバル化とともにリージョナル化が深化するなかで, アジアの多様性への理解を深め, 多様性を対立ではなく地域全体の魅力・活力として高めていくことも求められている。平成18年4月, 名城大学ではこれらの社会的要請にこたえて, アジア研究拠点として名城大学アジア研究所 (以下, アジア研究所) を設置した。

産業育成, 急速な開発に伴う環境劣化等の諸問題があり, アジアの持続的な発展に向けては様々な課題が山積してい

る¹⁾。日本はアジア経済の中核に位置して、その発展に大きな影響を及ぼしてきた。日本とアジアとの相互依存関係はかつてないほど高まっている²⁾。日本はアジアの持続的な発展に向けて積極的に取り組んでいく必要がある。

3. 結果、項目等

アジア研究所は、アジア地域の理解とその持続可能な発展に貢献することを目的としている。アジア研究所は、名城大学が有する社会科学、自然科学、工学、人文科学など総合的な学術シーズ・インフラを活用し、アジアに関心のある教員・留学生を含む学生および卒業生と国内外の研究者・研究機関とをネットワーク化し、学術・教育交流を通じてアジアの持続可能な発展に資する「知的創造のコア」としての機能を果たしていくことを目的としている。

アジア研究所は、アジア地域の理解とその持続可能な発展に貢献することを目的としている。アジア研究所は、名城大学が有する社会科学、自然科学、工学、人文科学など総合的な学術シーズ・インフラを活用し、アジアに関心のある教員・留学生を含む学生および卒業生と国内外の研究者・研究機関とをネットワーク化し、学術・教育交流を通じてアジアの持続可能な発展に資する「知的創造のコア」としての機能を果たしていくことを目的としている。

アジア研究所は、アジア地域の理解とその持続可能な発展に貢献することを目的としている。アジア研究所は、名城大学が有する社会科学、自然科学、工学、人文科学など総合的な学術シーズ・インフラを活用し、アジアに関心のある教員・留学生を含む学生および卒業生と国内外の研究者・研究機関とをネットワーク化し、学術・教育交流を通じてアジアの持続可能な発展に資する「知的創造のコア」としての機能を果たしていくことを目的としている。

アジア研究所は、アジア地域の理解とその持続可能な発展に貢献することを目的としている。アジア研究所は、名城大学が有する社会科学、自然科学、工学、人文科学など総合的な学術シーズ・インフラを活用し、アジアに関心のある教員・留学生を含む学生および卒業生と国内外の研究者・研究機関とをネットワーク化し、学術・教育交流を通じてアジアの持続可能な発展に資する「知的創造のコア」としての機能を果たしていくことを目的としている。

4. 考察、項目等

アジアは近年目覚しく発展しつつある¹⁾が、社会経済格差、環境問題、国内紛争など様々な問題も抱えている³⁾。経済発

展は環境負荷や資源収奪を一層高めている。アジア研究所では、リージョナルな国際協力・制度的枠組みを含めて、アジアの持続可能な発展とその方策について研究を進めていく。

名城大学が位置する名古屋圏は日本の製造業の中核地域であり、そのアジア進出にともない相互依存関係は深まりをみせている³⁾。投資・貿易を通じた国際経済の緊密化はアジア各国の社会や環境にも大きな影響を及ぼしている⁴⁾。アジア研究所は、経済、社会・文化、環境のバランスのとれた順循環的な発展と生活の質の向上をアジアと共に考えている。

アジアは近年目覚しく発展しつつある¹⁾が、社会経済格差、環境問題、国内紛争など様々な問題も抱えている³⁾。経済発展は環境負荷や資源収奪を一層高めている。アジア研究所では、リージョナルな国際協力・制度的枠組みを含めて、アジアの持続可能な発展とその方策について研究を進めていく。

名城大学が位置する名古屋圏は日本の製造業の中核地域であり、そのアジア進出にともない相互依存関係は深まりをみせている³⁾。投資・貿易を通じた国際経済の緊密化はアジア各国の社会や環境にも大きな影響を及ぼしている⁴⁾。アジア研究所は、経済、社会・文化、環境のバランスのとれた順循環的な発展と生活の質の向上をアジアと共に考えている。

アジアは近年目覚しく発展しつつある¹⁾が、社会経済格差、環境問題、国内紛争など様々な問題も抱えている³⁾。経済発展は環境負荷や資源収奪を一層高めている。アジア研究所では、リージョナルな国際協力・制度的枠組みを含めて、アジアの持続可能な発展とその方策について研究を進めていく。

名城大学が位置する名古屋圏は日本の製造業の中核地域であり、そのアジア進出にともない相互依存関係は深まりをみせている³⁾。投資・貿易を通じた国際経済の緊密化はアジア各国の社会や環境にも大きな影響を及ぼしている⁴⁾。アジア研究所は、経済、社会・文化、環境のバランスのとれた順循環的な発展と生活の質の向上をアジアと共に考えている。

名城大学が位置する名古屋圏は日本の製造業の中核地域であり、そのアジア進出にともない相互依存関係は深まりをみせている³⁾。投資・貿易を通じた国際経済の緊密化はアジア各国の社会や環境にも大きな影響を及ぼしている⁴⁾。アジア研究所は、経済、社会・文化、環境のバランスのとれた順循環的な発展と生活の質の向上をアジアと共に考えている。

名城大学が位置する名古屋圏は日本の製造業の中核地域であり、そのアジア進出にともない相互依存関係は深まりをみせている³⁾。投資・貿易を通じた国際経済の緊密化はアジア各国の社会や環境にも大きな影響を及ぼしている⁴⁾。アジア研究所は、経済、社会・文化、環境のバランスのとれた順循環的な発展と生活の質の向上をアジアと共に考えている。

5. まとめ, 将来への展望など

総合大学である名城大学には, 自然科学, 社会科学, 人文科学, 総合学術など多面的な研究蓄積がなされています。学内の知的シーズや要素技術を活用し, アジアをフィールドとして応用展開し, 国際的な学術・研究交流の拠点を形成していきます。

謝辞

本研究は, 文部科学省の科学研究費補助金および名城大学アジア研究所公募型研究助成金により行われたものであり, ここに深く感謝致します。

参考文献

- 1) Meijo T., Asia H. (2007) Asia research, *J. Res. Inst. Meijo Univ.(italic)*, 222(bold), 11-22.
- 2) Meijo T., Asia H. (2007) Asia research, *J. Res. Inst. Meijo Univ.(italic)*, 222(bold), 11-22.
- 3) Meijo T., Asia H. (2007) Asia research, *J. Res. Inst. Meijo Univ.(italic)*, 222(bold), 11-22.
- 4) Meijo T., Asia H. (2007) Asia research, *J. Res. Inst. Meijo Univ.(italic)*, 222(bold), 11-22.
- 5) Meijo T., Asia H. (2007) Asia research, *J. Res. Inst. Meijo Univ.(italic)*, 222(bold), 11-22.
- 6) Meijo T., Asia H. (2007) Asia research, *J. Res. Inst. Meijo Univ.(italic)*, 222(bold), 11-22.

